

京都精神保健福祉士協会

きょうと通信

NO. 69



2009年2月発行

事務局：財団法人 長岡記念財団内

〒617-0843 京都府長岡京市友岡4丁目18の1

TEL 075-951-9201 (代)

FAX 075-954-1210 (代)

e-mail office@kyo-psw.org

HP <http://www.kyo-psw.org/>

【3月例会のご案内】

日 時：2009年3月6日（金）18:30～21:00

会 場：京都市子育て支援総合センター「こどもみらい館」4階

住 所：京都市中京区間之町通竹屋町下る楠町601-1

T E L：075-254-5001

H P：<http://www.kodomomirai.or.jp/>

テーマ：当事者からの告発がなげかけたもの～Y問題が一般化するまで～

講 師：小出保廣氏（堺市こころの健康センター・元日本精神保健福祉士協会常任理事）

教科書に出てくる「Y問題」についてみなさんはどんなふうに認識していますか。PSWにより不当な入院をさせられたというY氏からの告発。大きな課題を投げかけられたPSW。当時のPSW諸先輩、そして職能団体はどのように捉えどのように向き合ってきたのでしょうか。それは決して過ぎ去った問題ではなく、今の私たちにも、そのあり方を問いかけ、ふりかえり、そして向き合わなければならない課題を投げかけてくれます。講師には当時実際にこの問題に取り組み、一般化する作業を担われたおひとりである小出保廣氏をお迎えします。「正の遺産」として伝え続けられる「Y問題」について学び、今につながる気づきを得てみませんか。

また小出氏からは、昨年訪問されたイタリア・トリエステでのとりくみや、いま全国でとりくまれている退院支援にまつわる新しい情報もお聴きできる予定です。

この例会は「倫理について考える委員会」の企画です。多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

3月例会は定例の第一土曜日ではありません。ご注意ください。

【12 月例会報告】

日 時	: 2008 年 12 月 6 日 (土) 14:00~17:00
会 場	: 京都市健保組合保養所「きよみず」(京都市東山区清水 4-200)
テーマ	: 「ミニ学会“ 地域で実践していること ”」
演 者	: 大矢 晶弘さん(第二北山病院デイケアかりん) 石田 早苗さん(生活訓練施設アスロード) 宮崎 彰造さん(地域生活支援センターらしく) 熊取谷 晶さん(京都府山城南保健所)
参 加 者	: 25 名

今年度の 12 月例会は、ミニ学会方式による実践報告を行いました。今回は地域での実践活動について、4 名の演題発表者にご参加いただき現状報告・課題をお話していただきました。

“第二北山病院デイケアかりん”の大矢さんからは、デイケアの概要、就労や次のステップを意識した“はたらき隊”やサロン活動、その他利用者からの意見を尊重したプログラムなどの活動報告がありました。また課題として、利用者の高齢化に伴って、利用が困難になるケースや生活への不安から入院を希望するケースなどが増えてきており、幅広い年代の利用者に対していかに個々に合わせた支援ができるか、個別にどこまで対応できるかなどが挙げられました。

“生活訓練施設アスロード”の石田さんからは、生活訓練施設での服薬管理や金銭管理などスタッフと協同して訓練し自己管理に繋げていく地道な積み重ねや、利用者が問題に直面した際にタイムリーに支援できるということ、また様々な機関やご家族と協働して地域に送り出すなどの取り組みの報告がありました。課題は社会資源の乏しさからニーズに応えられず再入院になったケースや、高齢化などで夜間や休日の支援を求められるケースが増えていることなどが挙げられました。質疑応答ではこれから利用するにあたっての質問や、金銭管理などの具体的な支援内容など意見交換がなされました。

“地域生活支援センターらしく”の宮崎さんからは、退院前後の訪問の重要性から退院前の病院訪問、退院促進事業後の引継ぎをされていることや、介護保険対象の高齢者への支援、当事者活動などの取り組みの報告がありました。課題として相談件数の増加や多岐にわたる内容について、限られた資源で質を落とさずにいかにきめ細かいニーズに応えるかが挙げられていました。

“京都府山城南保健所”の熊取谷さんからは、山城南保健所で行われている家族支援について話をいただきました。個別面談だけでは具体的な対処法を求めめるご家族のニーズに対応できず、支援を諦めざるを得なかったご家族を支えるため始められた具体的な取り組みとして、家族会や茶話会を企画されたという初期のお話や、グループワークの形式や開催頻度などの現状が報告されました。また今後の課題として、対象ではあるが参加できていないご家族への配慮や働きかけ、家族会の組織化(町内会のような家族会)の工夫などが挙げられていました。

今回の例会では実践を振り返ると同時に普段は知ることのできない他施設の実情や課題などに触れることができました。また高齢化の問題や金銭管理といった身近で共通する話題も多く実感の伴った理解ができたように思います。最後に、発表者の感想です。

『今回ミニ学会を体験させて頂いて改めて自らの活動を振り返る良い機会となりました。また参加者の皆様には積極的にご意見、ご質問をいただきありがとうございました。今後の活動に生かせるよう頑張りたいと思います。(第二北山病院デイケアかりん 大矢 昌弘)』

『今回のミニ学会は、参加された方が大変熱心に発表を聞かれ、関心を持ってくださりとてもや

りがいがありました。この発表がきっかけで、生活訓練施設のことを多くの関係者に知ってもらいたいと思います。(アスロード 石田 早苗)』

『日々の忙しい業務にかまけて、なかなか自分の仕事をゆっくり振り返る機会がありませんが、今回の演題発表にあたって、自分の普段の利用者との関わり方等を少し整理することが出来ました。本当にありがとうございました。(地域生活支援センターらしく 宮崎 彰造)』

『今回は、例会担当者と演題者の立場での参加でした。例会担当者としては、会場に人が集まるかドキドキさせられ、なんとか会場が埋まったのでひと安心。演題者としては、前の演題者の方々の発表で、参加者の方々との積極的なやりとりがあり、熱気が高まった中での発表でした。緊張しましたが、良い経験になりました。毎日忙しさにかまけて、自分自身の仕事を振り返る場がなく、今回その機会を与えてもらったことに感謝します。例会担当者としては、反省しなければならないことが多かったです。ミニ学会がいつか本当の学会になる日がくればええなあ。(山城南保健所 熊取谷 晶)』

(報告：ジョイ四条河原町 吉見)

【12 月例会感想文】

第二北山病院デイケアかりん

小野 幸子さん

参考になる実践報告をありがとうございました。それぞれの施設が『自身の施設はどのような対象者にどのような支援を提供するのか』という方向性を明確に絞っておられ、支援内容も明確である事が印象的でした。日々忙しくしているとスタッフ間で大まかには方向性を共有していても細部がぼやけてしまい、根拠がはっきりせぬまま動き始めていたり、支援が後手後手になる事もあります。定期的に方向性をスタッフ間で共有しあい、現状の支援内容と照らし合わせて改善していく事が大切だなあと感じました。

佐藤先生は「3年後の自分達の方向性を考えてみましょう」とアドバイスをくださいました。デイケアかりんでは長期利用者の高齢化が進んでいます。3年後は今よりもっと高齢化し、デイケアや単身生活が続けられない人も出てきます。今から利用できる資源の選択肢を広げられるよう情報収集したり、予防的なプログラムを毎日取り入れていく必要性を感じます。このような話をデイケアスタッフ間で話し合いたいと思います。

瀬尾医院 大井 梓さん

今回の例会は4つの違う機能を持つ機関から、日頃実践されている活動内容とその中で見えてくる課題についての発表だった。各機関の発表を聞いて、共通の課題がいくつかあることがわかった。中でも利用者の高齢化に伴い ADL の低下や服薬管理が難しい方に対する支援はちょうど自分の職場内でも課題として検討していたことだったので、興味深く聞かせていただいた。

高齢の方の支援を考えると、その人の持つ力は何か、介護・障害分野で利用できるサービスの種類は？と個人や地域にばかり目が向いていて気がつかなかったが、今回の例会発表の中で社会全体の人口の高齢化や現在進められている退院支援政策も関連していることが浮かび上がってきた。

日々の業務の中でついつい目の前の利用者支援にとらわれてしまうことが多いが、社会の動向を見据えながら支援のあり方について考える大切さをあらためて実感した。

【リレー職場紹介】

東舞鶴病院 精神保健福祉士
大機 卓文さん

はじめまして、もしくはお世話になっている方々、東舞鶴病院に勤務しています、大機といいます。

簡単に自己紹介をします。身長は167cm、細めの体つきで、血液型はA型、好きな食べ物はポテトサラダ、枝豆、ポテトチップスです。好きな事は旅行の雑誌を見ることが、夜の散歩です。最近こっていることは、有名人のエッセイを読むことです。

現在主に活動している職場は院内作業療法室です。スタッフは自分を含めて6人です。皆個性的なもののばかりで6通りの主張と考えがありしゃべっていても面白いし「こんな考え方もあるのか」と気づかされることもあります。メリハリのある職場で、真剣なときには熱いトークが繰り広げられ、終業後は晴れ晴れとし、雑談をしたり、ご飯を食べに行くこともあります。

PSWとしての業務は、病院内では作業療法室でスタッフとして利用者さんと一緒に活動をしています。しばらく作業療法に來れなくなった患者さんが、どのように病室で過ごしているのか、作業療法に來れなくなったのは何か理由があるのか、などを本人から聴かせていただきます。さらに、医師、看護師から病棟での様子を伺うよう心がけています。そしてその情報は同僚のPSWやOTと共有し、違う視点や考えを持つ仲間とどうすればいいのか考えるようにしています。そこで生まれた考えを今度はまた病棟に伝え、病棟では作業療法スタッフの考えに対しどう考えているのかを教えてもらいます。それは何度も繰り返されることもあります。

もうひとつの業務は、当病院所属グループホームの運営、利用者さんからの相談、苦情対応などを行っています。利用者さんにとって自分が介入することが望ましいとあれば訪問し、相談、対応をします。また、病状的には安定している利用者さんで、しかし次なる意欲的活動が見られないなら、最近の出来事や、面白い出来事、社会的な話などをすることで、新たな世界へと興味が起こればと試みたりします。

働いていて楽しいなと感じるときは、患者さんの笑顔を見ることです。特に印象深いのは、陰性症状が強い患者さんでにこりともせず、うんともすんともしない患者さんがクスリと笑い始め、それから笑顔の頻度が増え、今では冗談を言うとクックックと声を上げるまでになりました。チームとして彼女に接し、工夫の日々がありました。そして何よりも彼女の「変わった」気持ちさがそうさせたのだと思います。そのようなサインも見逃さないよう心がけたいです。

同じ疾患名を持った人でも十人十色で、早期退院が見込まれる人もいればそうでない人もいます。何人も、どのような形であっても「楽しいな」という実感を持って生きてほしいです。そのなかで、自分に何が出来るかを考えているところです。

【京都精神保健福祉士協会 2008 年度第 5 回役員会概要報告】

開 催	日：2008 年 12 月 20 日(土) 13：30～18：30
場 所	高木神経科医院 302 号室
出 席	小野・亀海・熊取谷・斉藤・月川・中瀬・西村・姫野・前田・物
事務局委員	賀来・山本
欠 席	佐藤
進 行	物
書 記	賀来・山本

I. 各部・委員会からの報告・検討

1. 研究研修部

○例会

11月例会実施報告：「障害の違いを超えて、生活ニーズと支援の視点を考える」

参加者 23 名

会員の参加が予想よりも少なかった。参加者の 3 分の 2 が支援センターの職員であり、また非会員の参加もあった。医療機関やさまざまな機関からの参加があればもっと深い討論ができたかもしれないとの報告がされた。

12月例会実施報告：「ミニ学会“地域で実践していること”」 参加者 25 名

進む高齢化にどう対応すべきかが、演題を通しての共通課題であった。

発表者の応募がなく、会員への呼びかけに工夫が必要であること、またテーマを明確にすることや専門委員会からの報告なども検討できるのではといった意見交換がされた。

2月例会(1月31日)予定：医療観察法学習会担当

テーマ：「何度でも学びます～医療観察法～」講師：大杉光子弁護士(こもれび法律事務所)

会 場：京都府職員福利厚生センター 第1研修室

メールにて法への疑問・質問を募ったが返信がなく、企画を変更しすすめている。

3月例会(3月6日(金)18:30)予定：倫理について考える委員会担当

テーマ：「Y問題の事実、その時起こったことをちゃんとおさえて、そこから学ぶ」(仮題)

講 師：小出保博氏(大阪府)、 会 場：こどもみらい館 研修室(定員 48 名)

10月例会のその後：講演中に不適切な発言があったことについて申し入れをした。通信掲載の例会報告文について提示した内容では了解をいただかず、報告文を見直しあらためて掲載依頼をすることとなった。

→役員会以降の経過：了解は得られず、掲載予定号での報告は見送ることとした。その後は三役で対応、事態の総括を役員で、そしてその報告を総会で行うこととした。

○初任者研修：全3回を終了しアンケート集計とまとめを作成中である。1月に振り返りと次年度について、さらに日本協会の基幹研修Ⅰの受託開催について検討予定と報告された。

○専門委員会

権利擁護委員会：高齢者・障害者ケース検討会(12/17、京都弁護士会館にて開催)に3名の委員が参加(オブザーバー)したことの報告がされた。また「全国権利擁護支援ネットワーク会議inとうきょう」NPO法人PASネット主催が2月7日・8日に東京で開催されると情報提供された。

倫理について考える委員会：Y問題に関して、日本協会はどう捉え、どう繋いでいったのかの学びをテーマに3月例会を準備していること。また、倫理について考える冊子の進捗状況の報告がされた。

実習検討委員会：中間報告を出す予定とのこと。

障害者自立支援法委員会：京都市(11月13日)・京都府(11月26日)へ5団体で要望書を提出した。報告は通信で行う。関連することとして京都府が第2期京都府障害福祉計画(中間案)への意見募集を行っているとの情報提供があり、会員へメール配信することとした。

心神喪失者等医療観察法学習会：11月12日・12月10日に集まりをもった。10月に開催した学習会の振り返りを行い、2月例会の準備に取りかかっている。例会に向けて、疑問・質問をメール配信で募ったが返信がえられず企画を変更したとの報告がされた。

2. 通信情報部

○通信：予定通りの発行。掲載記事の確認について話題になった。

○サーバーの移行について：今後の予定について報告された。ドメイン移行手数料に 21,000 円が必要とのこと。ビッグロブの解約手続きを 12 月中に行い、ファーストサーバーへの移行をすすめていくことが確認された。また、事務局から、会員のメールアドレスの登録方法が質問された。

○ホームページ新着情報掲載までの手順の提示、確認がされた。

3. 組織運営部：組織検討委員会での取り組みの他なし

II. 今年度の取り組みについて

○労働実態調査について：回答は 50%程度で、現在集約作業を行っているところ。また調査担当者による学会発表について、現在予定はないが発表する際のデータ提供者等の明記について、抄録内に「本研究は京都精神保健福祉士協会の委託を受けて実施した」などの文言を入れることの確認がされた。

○研修のあり方検討委員会：現状と課題、そして今後の取り組みについて報告がされた。例会については、開催曜日、時間帯、会場の検討、企画運営するシステムの整備をはかること。初任者研修については、日本協会の基幹研修Ⅰを受託し、リンクさせて開催しプログラムの充実化をはかることを検討しているとの報告がされた。

○組織検討委員会：「懲戒処分規定(案)」「規約改正(案)」について検討した。
「新組織体制(案)」について、きょうと通信 67 号とともに配信して提示し、11 月例会、12 月例会、初任者研修 3 日目の場で説明を行ったが、寄せられた意見は 3 件のみであった。意見を受けて、現状や経過について十分な説明ができていないことなどを反省し、あらためて提案への説明をすることとした。組織検討委員会で文書を作成し、2 月上旬には配信できるようにすることが確認された。

次期事務局候補機関についての状況が報告され、現役員の進退について確認された。

III. 対外関係

○「京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構」から「平成 20 年度支援機構賛助会費納入(任意)の依頼」に、1 口 5,000 円の協力をする事とした。

○「滋賀県精神科救急情報センター」精神科救急医療相談の担当精神保健福祉士求人について滋賀県障害者自立支援課の担当者より協力依頼があり、メール配信した。

○京都市社会福祉協議会ふれあい研修センター「社会福祉研修の見直し検討プロジェクト」から 11 月 28 日訪問ヒアリングを受けた。(担当 西村) 京都協会の研修の現状と課題を伝えた。京都市社協では、将来的に市内で開催される研修を掌握し、HP で一覧できるようなシステムを計画しているよう。

○「包括的暴力防止プログラム(CVPPP)」(京都保護観察所主催)開催案内の送付があり、メール配信する。

○「京都市自治百十周年記念表彰」(2008 年 11 月 15 日)で表彰を受けた。

○各機関からの求人依頼について、協会への依頼についてはメール配信で対応、個人薦等の依頼については対応できないことを確認した。

○「関西地区精神保健医療福祉研修会」講演名義使用依頼について、承認した。

○『支えあうまち・京のほほえみプラン』(京都市障害保健福祉推進計画 2008-2012)送付された。

○「京都市高齢者・障害者権利擁護ネットワーク連絡会議」(1 月 19 日)出席依頼があり、権利擁護委員会で対応することとする。

IV. 日本精神保健福祉士協会京都府支部関連

- 都道府県支部長会議(11月29日開催、東京)：京都府支部会長でもある中瀬会長が出席、精神保健福祉士養成のあり方の見直しについて、都道府県協会との連携の必要性や基幹研修の実施状況についてなどの会議の報告がされた。
- 第9回精神保健福祉士全国統一模擬試験京都会場受託開催(11月3日実施)：西村さん、佐藤さん、中谷さんの3名が担当、48名の受験者があり、日本協会から7万2千円の委託料が振り込まれた。実収入は4万円程度との報告がされた。
- 基幹研修に関する京都府支部より支部構成員への案内について、京都協会との重複会員へのメール配信に協力した。

V. 事務局ほか

- 事務局：特記事項なし
 - 会計：収支の中間報告がされた。会費未払い者が100名近くあり、納入依頼文をメールと通信郵送者には郵送で送ることとし、作業は事務局が行う。
会員の講師謝礼について、協会の役職(役員・委員)として協会事業にかかわる際には講師謝礼は発生しない。一会員個人として、講師としてかかわった際には内規による講師料が発生すると見直した。
 - 今後の予定
- | | | | | | |
|-------|---------|------|-------|-------|--------|
| 2月14日 | 第6回役員会 | 3月1日 | 選挙告示 | 3月14日 | 第7回役員会 |
| 4月 | 第5期役員決定 | 5月 | 第9回総会 | | |

【役員改選のお知らせ】

次年度は役員改選の年にあたります。「役員選出規則」に基づき、2月に選挙管理委員会を開設、3月1日には告示を行いますので、役員立候補予定の方はご準備をお願いします。また、定数を上回る立候補者があった場合は会員の郵送投票による選挙となりますので、今後のお知らせ等をお読みいただきますようお願いいたします。なお、今後の日程は下記のとおりです。

3月1日	選挙告示
3月10日	立候補〆切
～立候補者が定数を上回った場合～	
3月中旬	会員に投票用紙を配布
3月下旬	郵送による投票〆切 開票
5月	第9回総会

【事務局からのお知らせ】

会員の動向

- 〔入会〕 角谷 慶子(かどや けいこ)さん 梅花女子大学
〒567-8578 大阪府茨木市宿久庄 2-19-5
TEL 072-643-6221 FAX 072-643-8473
- 〔会員数〕 2009年1月23日現在 316名

■ 変更届ご提出のお願い

所属先、連絡などのご提出いただいている内容に変更のある方は、変更届（会員名簿に用紙が添付されています）を事務局にご提出ください。選挙の告示など大切なご案内が控えておりますので、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

《会費納入のお願い》

今年度も残りわずかとなっております。会費をお納めでない方には、既にメールにてお知らせしております。なるべくお早めに納入いただくようお願いいたします。特に前年度未納の方は2年滞納となりますと規約にありますので退会となりますのでお気をつけ下さい。

なお、今年度より金額が変わっておりますので、口座振替をご利用の方はお気をつけ下さい。また、会費を納めたかどうか等ご不明の方は事務局にご連絡下さい。後日会計担当者より返答いたします。ご協力をお願いいたします。

郵便振替： 口座番号 00960-7-120392

加入者名： 京都精神保健福祉士協会

年 会 費： 4,000円

昨年度未納の方は7,000円、郵送負担料のある方は各年度500円を併せてお支払い下さい。

（会計 月川・斉藤）

《メール配信およびホームページについて》

現在ホームページおよびメール配信などの充実を図るための作業を行っております。これまでの通信の役員会報告内で何度か触れておりますが、レンタルサーバーを利用して、協会の情報発信の新たな方法を試みようとしております。

具体的な変更は体制が整いしだい再びお知らせ致します。

（HP担当 斉藤）

【編集後記】

1 月末札幌に行ってきました。どれほどの寒さかととても不安だったのですが、いざ行ってみると京都の寒さとそう変わらないような気がしました。やはり京都の底冷えはすごいのだと実感しました。もう少しで春が来るかと思うと、とても待ち遠しいです。（吉田悦子）

初めて編集担当をさせていただきました。こんなにたくさんの方の協力があって、毎回の通信が出来上がっているのだということを実感することができました。今回も、皆さんの目に留まりやすいものになっていると嬉しいです。（宮本麻紀）